

おぐらぜき 小倉堰ってなあに？

おぐらぜき
小倉堰



頭首工データ

関東の三堰と言われている小倉堰は慶長8年（1603）に西方城主藤田能登守によって築かれました。400年以上経った現在でも栃木市西方町の農業を支えています。

所在地：栃木県栃木市西方町本城
河川名：利根川水系思川
形式：固定堰
：ローラーゲート
最大取水量：3.33m³/s
受益面積：621ha（栃木市全域）

《ローラーゲート》



大きな水圧に対しても両側に配置されたローラーによって巻き上げ力を減少する構造のゲートです。

幅3m 高さ1.6m×6門

《固定堰》



農業用水を水路に取り入れるために河川を横切って設置されています。

幅約140m 高さ約2.9m



《魚道》



魚が上流へ上れるようにするための施設です。

～～近隣施設の紹介～～

道の駅にしかた

（農産物直売所ふれあいの郷）

近隣地域から集めた新鮮な野菜やお米、いちごなどが揃っています。また、旬な食材を使ったさまざまな加工品・惣菜・お弁当なども取り扱っています。（栃木市西方町元369-1）



～～～農村整備部 twitter～～～



下都賀地域の農業農村整備に関する情報をお届けします。